



みなみ あ す か
南明日香

生年月 1990年10月大阪府生まれ
最終学歴 2016年京都大学大学院
工学研究科建築学専攻修了
業務経歴 2016年(株)竹中工務店入社
2017年～開発計画本部
現在 開発事業本部主任

●担当した主なプロジェクト
2018年 中村区役所等複合庁舎等整備事業
2019年 須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業
2020年 名古屋市瑞穂公園陸上競技場等事業
2024年 当社寮活用計画

■青年技術者のことば

私は多様な人間の活動を内包する都市の実現を目指しています。多様な人間の活動とは、都市を構成する最小単位である「個人」が、単なる「消費者」にならず「表現者」として振る舞えることだと捉えています。そのような活動を生み出すために、私は次の視点を大切にしています。

①そこを訪れる人の属性や役割を固定化しない《受容度の高い場づくり》：敷地や建物の“内と外”や異なる性質の“領域間”をシームレスにつなぐなど、“境界”をばやかすことで多様なアクティビティを柔らかく受け入れられる場をつくります。

②一定エリア内の地域資源の再編集による《群としての魅力づくり》：人口減少・経済縮小が進む日本で、都市が人を集めるためには、均質化・没個性化しない都市固有の文化やアイデンティティの醸成が重要です。これらは建築単体では実現しないため、敷地を超えた地域資源の循環を念頭に置いて取り組みます。

これも私はこれらのアプローチを実践しながら、また自分自身が都市を楽しむ一人としての感覚も研ぎ澄ませながら、多様な人間の活動を内包し、出会い・発見・創造・交流の機会を生み出すことで、多くの人に愛される都市の実現に貢献したいと思います。

■すいせん者

栗原智一
(株)竹中工務店 開発計画本部
西日本3グループ長

須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業

公募提案時は施設配置や動線計画、コンセプトメイクを担当し、パーク（地域）とリゾート（観光）の調和づくりを目指した。推進段階は交通協議を担当し、駐車台数・配置や車両誘導の適正化によってエリア全体を安全に回遊できる計画実現に貢献した。



複数の施設にまたがる多様な関係者間でビジョンを共有するためのコンセプトメイク

アーバンコミュニティパーク
【地域のOOL(島上)】
六甲山/松林
ローカル
日本/リゾックス
カシエラ

アスティネーションリゾート
【観光集積】
瀬戸内海
グローバル
非日常/アクティブ
プレミアム

「つながる」海浜リゾートパーク
神戸須磨

Parks + Resorts

- 交通: 観光客と市民がつながる COMMUNICATION
- 融合: 公園・海と各施設が融合する FUSION
- 連携: 世界/瀬戸内/関西とつながる NETWORK
- 継承・継承: 歴史や未来とつながる SUSTAINABLE
- 体験: 感動/文化/知育とつながる EXPERIENCE

にぎわい施設

- 宿泊施設
- 水族館
- 園地（海浜公園の魅力再生）

有料ゾーンをなるべくコンパクトにして歴史ある松林を保存しながら、一般利用可能エリアを最大化。また安心・安全に公園を回遊できる動線計画としている。



名古屋市瑞穂公園陸上競技場等事業

公募提案時のコンセプトメイクやゾーニング・動線計画を担当し、公園とスポーツ集客施設の融合を目指した。



住宅街と近接する運動公園において“市民にとってスポーツをもっと身近に”をビジョンに計画を行った。

新しいスポーツの価値を共創・発信する公園

LOOP
LifeSports - Our Own Park

“LifeSports”とは競技・観戦から遊び・気晴らしまで、ここから“暮らしを豊かに、まちなぎを元気にする”新しいスポーツの価値概念です。

世界へ発信
レガシー
歴史
健康
シビックプライドの醸成
文化
自然
地域
交流
地域との共創

※LOOPのロゴは公募提案時のもの

当社寮活用計画（計画中）

寮機能停止に伴う賃貸住宅への改修について、初期の事業企画・コンセプト立案から、現在は設計段階においてプロジェクトマネジメントを担当。

